



労福協

労福協だより

2010 春号

静岡県労働者福祉協議会



講師に金子勝氏を招いて

慶応義塾大学経済学部教授

ALWF
トップセミナー・
賀詞交換会

2010年度スタート 23地区労福協会長から一言

県労福協 第4回幹事会

地区労福協との意見交換会 全日程終了

LSCLずおか活動報告 シニアからはじめる老い支度

改正貸金業法のポイントと対応

ALWF地域セミナー 東・中・西開催

川柳入賞者決定

ろうきん運営委員トップセミナー

災害ボランティア救援活動 図上訓練

中小企業 勤労者福祉共済会方向性研究会

地域・地区労福協活動紹介



会長
相馬 克光

賀茂地区

昨年末には、1市5町との自治体懇談会を開き、子育て支援・教育環境・交通政策等の協議を進め、各市町とも前向きな回答を頂きました。本年も地域に根付いた福祉活動の充実と、地震・インフルエンザに打ち勝ち、地域の活性化に努めます。



会長
土屋 成人

伊東熱海地区

伊東熱海地区では毎年2月、伊東・熱海市内の小学校の全児童に花の種を差し上げており、来年の2月で10年目となります。伊豆ではこれからたくさんのお花が見ごろを迎えます。「花といで湯の街」にぜひお越しください。



会長
阿久根真一

裾野地区

昨年は裾野地区労福協設立30周年記念行事（ふれ愛 IN 富士サファリパーク）もあり、たくさんの会員ご家族に楽しんで頂きました。今後も協議会と行政が一体となった地域作りを目指し活き活きと活動していきます。



会長
岩田 晃

三島地区

三島地区では、毎年恒例となった「勤労者福祉講演会」を開催し、多くの会員の皆様に参加いただいております。（2009年度は千葉真子さん講師）また、長泉支部としても地区同様、地域の密着した活動を展開しております。



会長
大村 正

富士地区

「芸能祭」に代わる行事として始めた「福祉活動発表会」も2回開催され、幹事労組の紹介が一巡しました。今後は富士地区で活動しているNPO等の福祉団体・組織の紹介など新しい展開に取り組んでいきます。



会長
佐竹 功

清水地区

清水地区の独自性である「労働団体役員合同セミナー」や「ファミリーメーデー」などの開催を中心に、労福協・連合・福祉団体さらには組織内議員との連携をはかり、誰もが参加しやすい交流・自己研鑽の場を提供していきます。

2010年度がスタート
4月から新年度がスタートします。
ご当地自慢の活動や力をいれている活動など、
各地区労福協の熱い気持ちを届けます。



会長
白井 豊

沼津地区

恒例となっています春の「ソフトボール大会」や秋の「綱引き大会」などで家族を含めて良い汗を掻いていただいています。特に綱引き大会後の抽選会は好評を得ています。また、市社会福祉協議会に玩具や図書を寄贈するなど、地域貢献にも努めています。



会長
松永 宏一

北駿地区

昨年、御殿場市に対して緊急経済・支援活動に関する要望をした結果、『就職安定資金融資』利用者に対する利子補給金制度を施行実施していただきました。春と秋、市町との共催で「マイホームセミナー」を開催し「住まいづくりに役立つ情報」を提供しています。



会長
神戸 力弥

田方地区

「労福協って何?」「どんな活動をしているの?」という声。この声を課題とし、労福協の活動の理念に基づいた田方地区ならではの、そして、地域に根ざした顔の見える活動を意識した取り組みを展開してまいります。



会長
小林 純一

富士宮地区

社会貢献活動に取り組みます。社会全体が豊かになることが大切です。会員さんからニーズを引き出し、それをマッチングさせる活動を考え、動員で社会貢献活動に参加するのではなく、会員さんや、その所属する企業や組織の社会貢献活動を支える活動に取り組みます。



会長
井上 明彦

静岡地区

静岡地区では、勤労者行政の充実と地域福祉の充実をテーマに活動し、清水地区と共同で復職を希望する家庭の入園許可の通知の早期連絡を実施できました。少しでも地域に密着できる活動として今後も要請と交流を中心に活動していきます。



会長
水島 邦博

焼津地区

ニート相談会の開催も四年目にはいりました。一人でも多くの働く仲間が増えるよう、さらに充実した相談会を目指していきます。また、様々な活動を通して横の繋がりを強化できるよう取り組んでいきたいと思っています。



会長
木下 勇

島田榛北地区

地区労福協は、昨年に引き続き新たな取り組みとして、若者手造りのイベントや地域連携する防災ボランティア活動等にも参加し、存在意義の実感できる活動を進めてまいります。



会長
山下 聡

掛川地区

掛川地区労福協では、文化講演会や各種セミナー、ボランティア活動、また会員相互の情報交換および交流活動などの労福協活動を通じ、地域の勤労者のみなさんと連帯を深めた活動を目指していきます。



会長
倉橋 健

磐田地区

活動の柱を次の5つ「暮らし・生活支援」「会員活動支援」「地域活性化支援」「行政との連携」「福祉事業団体の育成・強化」とし、会員とご家族の生活の安定・健全化に貢献していきます。



会長
加藤 幸博

浜松地区

厳しい環境の中にあっても、浜松労福協のチャレンジ精神とチームワークは健在。セミナー・カンパ活動・LSCとの連携など、今年度も地域社会に共感を呼ぶ活動を念頭に置きながら、みんなで元気に汗を流します。



会長
野沢 恒年

引佐地区

引佐地区の、主な活動は浜松市労福協（3地区）として活動しています。地区独自の活動として、家族参加で「クリーンキャンペーン（ゴミ拾い）」を実施し、社会貢献に取り組んでいます。



会長
島村 昌宏

藤枝地区

会員はもちろん、勤労者と家族のための活動を行い、元気な藤枝づくりに貢献できるよう行政とも連携して活動を進めます。そのためまず労働関係団体合同の役員研修会を開催して相互啓発を行いました。



会長
笠原 賞憲

榛南地区

榛南地区労福協では、会員と地域の交流と福祉行政の充実に向けた取り組みを強化しています。毎年恒例の「親子ふれあいの集い」は、20回目を迎え、自治体、企業、榛南の名物イベントとなっています。



会長
小田 邦浩

小笠南地区

小笠南地区は、本年30年の節目を迎えます。これを期に労福協活動の原点に戻り、地域に暮らす勤労者とその家族の「幸せの実現」のために、各種学習会及び交流の事業を充実させ、活動を行なっていきます。



会長
高橋謙二郎

袋井地区

遊びも学びも一所懸命。太田川ダム（森町）からエコパ（袋井市）を経由して、遠州灘（旧浅羽町）までという山から海までの南北に長い袋井地区の多種多様な文化のハーモニーを奏でてまいります。



会長
堀中 健次

浜北天竜北遠地区

浜北・天竜・北遠地区労福協では「活力ある福祉社会・地域共生で暮らしに夢を」をスローガンに労働者、社会福祉に様々な視点から見た活動を上部組織・福祉事業団体等と協調し知恵を出し汗を流して進めます。



会長
河邊 洋充

浜名地区

世界的な金融危機から既に一年半が経過しました。我々勤労者を取り巻く環境は相変わらず厳しく、生活さえ脅かされています。働く者が安全で安心な暮らしが送れる環境づくりと地域の福祉活動に取り組んでいきます。



金子 勝氏

ALWF トップセミナーと 賀詞交換会

1月6日(水)に開催されたALWFトップセミナー(福祉基金協会主催)で2010年の行事がスタートしました。

講師は金子勝氏(慶応義塾大学経済学部教授)で演題は「政権交代と日本経済のゆくえ」です。会場のホテルセンチュリー静岡には300名を超える方が集まり、約90分間の講演に聞き入りました。深刻化する日本経済の衰退「資産デフレ・資源インフレ」の中、小泉政権の構造改革で弱くなった日本経済を新政権はどう舵取りすれば乗り切れるのか。労働組合を含め、何をすべきか。グリーンニューデールや産業構造の転換などの施策にふれ



ながら講演は熱を帯びていきます。

齒に衣を着せない話しぶりには、時に笑いがこり大いに盛り上がりました。参加者から「面白かった。良かったー」と満足の声が開こえました。

講演会の後、引き続き同ホテルで県労福協と連合静岡の共催による「2010年賀詞交換会」が開催されました。

新春の華やいだ雰囲気の中、吉岡連合静岡会長と平野県労福協会長の主催者挨拶の後、川勝知事のご挨拶では「2月23日を富士山の日に」との思いが披露されました。

静岡県や民主党国会議員など多くの来賓の



方、県下各地の労働界・福祉事業団体関係者にお集まりいただき盛大な賀詞交換会となりました。

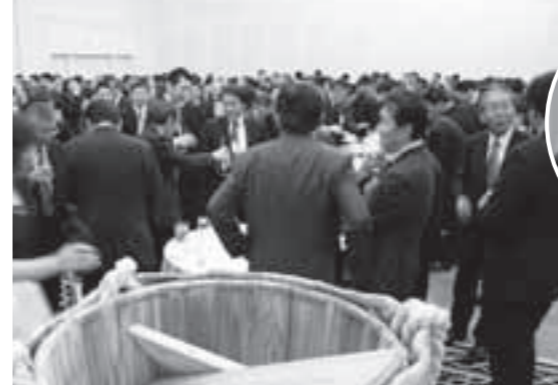
△平野会長の挨拶要旨(賀詞交換会)▽
年頭挨拶でどの企業でも「厳しさ」を訴えているが、本当のトップなら「厳しい環境の中でどうしたら道は開けるのか、夢のある話を語れ」と思う。我々も、安心・安全な社会をどうしたら実現できるか、共に考え行動しよう。



川勝 知事



平野 会長



2009年度 第4回

幹事会が開催 されました



鈴木 修 幹事



県労福協2009年度第4回幹事会が1月26日(火)静岡市の「あざれあ」で開催されました。平野会長の挨拶の後、新任の鈴木修幹事から自己紹介があり議事に入りました。

報告事項は

①「ALWFトップセミナー」の開催結果について

②各地区労福協との意見交換の開催状況について

③勤労者福祉共済会「方向性研究会」のまとめについて

④書き損じハガキ提供の再要請についての4本でした。

協議事項は、以下4本について質疑がされ提案どおり確認されました。

①県労福協「法人格取得」の進め方について：検討委員会を設置してメリットやデ

メリットの検証や考え方や進め方を整理する。また承認は総会で行うことなどが確認されました。

②LSCしずおか「あり方検討委員会」の報告と今後の進め方：LSCと福祉基金の一体化について、今後の検討課題や討議スケジュール、答申書の形式整理等を含め確認されました。

③第60回勤労者総合美術展の動員要請について：質疑無く確認。

④「改正貸金業法」と「割賦販売法改正」の理解を求める運動展開について：質疑無く確認。

その後、各福祉事業団体からの報告および退福協から「川柳」の審査結果報告があり、閉会となりました。

昨年9月から開始された地区労福協との意見交換会は、3月2日開催の田方地区をもって全地区の日程(18会場23地区)を終了しました。

各地区労福協からは会長以下四役・全地区合計で121名の参加をいただき、議題は特に限定しないで行なわれましたので幅広いものとなりました。主な項目は、県労福協幹事会等の運営、県と地区の役割整理、広報活動の強化、地区の財源課題、地区間の情報交換と共同、運動の地区拠点づくり、公益性のある活動、労金全国統合構想の影響、改正貸金業法完全施行への対応などです。

<主な発言(中間報告以降)>

①労福協やLSCなどが同居したワンストップの拠点を設置してほしい。

②地区労福協会員にアンケートを実施中。労福協を知ってもらい存在感を出してゆきたい。

③イベントは違ってても出席者が同じであることが多い。マンネリを防ぐ意味でも活動の事業仕分けが必要。

④意見交換会で出された意見が生かされるようフィードバックを行ってほしい。
出された意見・感想は180を越えており、現在その整理・分析中です。県労福協では、出された意見をできるだけ次年度運動方針に生かせるよう検討しており、次回県労福協幹事会に一定の報告を行う予定です。(T・K)



(賀茂地区 2009.12.21)

地区労福協との意見交換会は 全日程が終了しました

貸金業規制法改正のポイント

最終目的・価値・原理

資金需要者等利益保護
＋
国民経済の適切な運営

多重債務者を出さない
2006.12 改正の目的

目的＝対象

貸金業者の業務の適切な
運営を確保すること

(規制手段・方法)

登録制実施・その事業に
必要な規制を行うこと

貸金業の組織団体の認可
制度と適切な活動促進

参入規制

行為規制

金利の規制

総量規制

自主規制

- 登録要件強化
- 貸金業取扱主任者試験
- 財産的基礎要件引き上げ5000万円

- 禁止行為強化
- 取立規制
- 公正証書規制
- 保証人の徴求規制
- 生命保険付保に関する規制
- 帳簿閲覧等
- 書面交付義務

- 上限金利引下29.2%⇒15～20%
- みなし弁済禁止
- 賠償額予定上限1.46倍
- 保証料・媒介手数料も金利
- みなし規程整備
- 日掛等特例廃止

- 指定信用情報
- 返済能力調査
- 過剰貸付禁止
年収の1/3
09.11.30
貸金業制度PT
54.5%が総量
規制にかかる。

- 広告規制
- リボルビング契約適正化
- 相談・助言義務

この法律自体は多重債務者を出さない・生まないための法律であり、救済のものではない。
多重債務者救済の施策は「多重債務問題改善プログラム」として2007年4月20日に発表された。

静岡県労福協の取組み概要

特に「総量規制」によって、奥さんや子供さんを含め家族全体の借入額が家計収入の1/3を超える方などが、返済目処がたたなくなりヤミ金融に流れる恐れがあります。そこで、静岡県労働者福祉協議会は以下の取り組みを行います。

〈目 的〉

1. 今年6月に完全施行を向える改正貸金業法の日常生活に関わる事項の徹底。
2. 中央労福協の第二次「気づきキャンペーン」→総量規制に掛かる労働者の「ろうきんへの借換運動」の推進。

〈具体的活動〉

1. 連合静岡を始め関係団体の協力を得て、県下全域に教育宣伝活動を展開する。
2. 4月～6月を目途に労福協で分かりやすい特集号を発行していく。
3. 総量規制に関わる相談体制を整備する。 その他

1月26日、コープしずおかとの共催により、『現代お墓事情』の講演会を開催しました。講師は、NPO法人エンディングセンター理事長、東洋大学准教授である井上治代先生です。昔からお墓はその家のシンボルであり、『ご先祖様は子孫が守り、無縁にせず代々男系男子が継いでいく。』という考えがありますが、井上先生は、『自分はお嫁に行きいずれはだんなのお墓に入るけれど、娘だけの自分の親は無縁仏になってしまう』ことに疑問を感じ、この研究活動を始めたそうです。

今、跡継ぎを必要としない・自分らしいお墓や葬送を希望される方が増えておりますが、お墓を持たない例として、永代供養や合葬墓、樹木葬、散骨などがあります。少子化や核家族化による継承者の不在や、子どもはいるが負担を掛けたくないという親心などが伺えます。井上先生のエンディングセンターでは、樹木葬の一種である桜葬を行っています。シンボルである桜の木の下に直接遺骨を埋め土に還すというものですが、募集開始の広報前に完売してしまうほどの人気だそうです。お墓をもつ例でも、墓石に名字は入れず言葉を刻んだものなど(“寂”や“我ここに眠る”)、誰でも入れるように考えて作られたものが見られるようになったそうです。

思いやりと配慮。お父様の亡き後、ベッドのタンスに残されていたその封筒には、娘たちにあてた手紙、自分の亡き後についての手続きや連絡先、2人の娘名義の通帳、お父様が生活用に使っていた通帳が入っていたそうです。娘たちに少しの煩わしさも残さないよう身の回りを整理し旅立っていった父の深い愛情と生きていた証を感じ、先生はこの封筒を『思いやり袋』と呼んでいるのだそうです。自分の人生をどのように終わらせるか、終活(シュウカツ)は事前学習と準備が必要です。自分の希望や想いを伝える手段は書き残すことが最良ですが、書くことが難しいのなら家族や知人に思い切って話してみることも良い方法だそうです。自分の最期は自分ではできませんので、遺された人たちが困らないようにしておくことが一番の思いやりなのではないでしょうか。



井上 治代 氏

シニアからはじめる老い支度
(LSCしずおか活動報告)

お知らせ

好評につき、2010年度は、浜松、静岡、沼津の労政会館で開催いたします。尚、予定が変更になることがあります。タイトルは『今からはじめる老い支度』です。

- 第1回目：今を大切に生きる(仮題)
高橋卓志氏(神宮寺住職(松本市))
- 第2回目：成年後見制度を理解する
小林久晃氏(司法書士)
- 第3回目：自分らしい逝き方
二村祐輔氏(日本葬祭アカデミー教務研究室主宰)
- 第4回目：現代お墓事情
井上治代氏(東洋大学准教授・エンディングセンター代表)

開催日程	第1回	第2回	第3回	第4回
浜 松	5/11	6/3	6/22	7/15
静 岡	9/7	10/2	10/26	11/18
沼 津	9/8	10/23	11/17	12/11

参加費：1回につき500円
お申し込みは、コープしずおか組合員活動部まで
TEL:0120-718-107 FAX:054-272-6971

暮らしなんでも相談 内容別上位10項目

内 容	件数	内 容	件数
法律問題	299	クレサラ	67
心の悩み	259	借地借家	42
消費生活	195	医療保険	42
家庭問題	136	融 資	36
労働問題	77	就 職	31

2010年1月31日現在

相談ダイヤル

受付は平日9:00～17:00

お近くの相談窓口へ。
皆様のご利用を
お待ちしております。

中 部 054-288-3715

東 部 055-922-3715

西 部 053-461-3715

しだいばら 054-646-6055

中東遠 0538-33-3715

ALWF 地域セミナー 開催される

労組役員に就任して3年未満の方を対象に、今年もALWF地域セミナー（静岡県労働者福祉基金協会の主催）が東部・中部・西部の県下3会場で開催され、約150名の方に参加いただきました。

4つの講義、分散会と懇親会で丸1日の長丁場となりましたが、いずれの会場も熱心な研修となりました。分散会では、各職場での労金・労済の取組交流や講義内容の感想等が話し合われました。分散会メンバーで卓を囲んだ懇親会でも、引き続き会話が弾んでいました。

（講義内容）

- ◆自主福祉運動の歴史と意義『静岡県労働者運動小史』（90分）
 - ◆地域の福祉活動について『静岡県労協の活動について』（30分）
 - ◆静岡労金からの提案『ろうきんの制度について』（45分）
 - ◆全労済からの提案『保障設計運動と企業内保障調査のすすめ』（45分）
- 講師の一人として、今回の研修がみなさんの活動に少しでも生かされればありがたいと感じたところです。（T・K）

（参加者の声より）

○はじめて労金や全労済の生い立ちを知ったので、これからの取組みで気持ちが変わると思う ○クレサラの事では直接労金に相談できることを知らせていきたい ○難しい言葉もあったが、いいことを学習した。それをどうやって伝えるかこれから考えたい ○企業内の保障を知ることが保障の見直しに大事な事だと知った など

グリーン友の会・退福協

第4回 川柳 入賞作品が決定

今回のお題は「包む」でした。設楽選考委員長を中心に審査会が行われ、最優秀賞1点、優秀賞5点、佳作10点、入選7点が選ばれ、1月13日には勤労者総合会館で表彰式が行われました。紙面の関係からその一部をご紹介します。



表彰式に参加された皆さん

最優秀賞

「包紙 だけが銀座じゃ もう古い」 赤池 久代

優秀賞

「過去のこと 包んで捨てて 元のサヤ」 土屋 兼義

優秀賞

「交代で 包みきれずに 無駄暴露」 杉山 弘幸

優秀賞

「母なれば 包み銭と 文を添え」 望月 しづ江

優秀賞

「見栄張って 包む一枚 熨斗袋」 渡辺 清子

優秀賞

「包んでも 隠し切れない 我が脂肪」 山口 茜

優秀賞

「包んでも 隠し切れない 我が脂肪」 山口 茜

<総評>

川柳募集も回を重ねて五回目になりました。応募数も年々増加の一途で関係者一同感謝しているところです。五・七・五の十七音字で人間の心を表現する短詩文芸の楽しさが益々庶民に溶け込んでいる証ではないかと思っています。今回も一六二句もの投句を頂き審査委員を唸らせる佳句ばかりで、そんな中から二十三句を一生懸命選ばせて頂きました。課題の「包む」は義理をはじめ、心などを読む難しい題にも拘わらず沢山の佳句に出会い次回も期待するところです。

ろうきん運営委員トップセミナー開催

～「合併基本計画書原案」の
会員討議始まる～



2月9日（火）静岡労金の第27回運営委員トップセミナーがセンチュリーホテル静岡で開催されました。冒頭、鈴木理事長からは「全国合併に向けた合併準備委員会での論議の中で、労金がなぜできたのか、理念や出発点を忘れていないかを自問してきた。一方で金融機関を金利だけで評価する現実がある。これを機に労金運動の再構築が必要である。そのため経営・事務・営業・意識の4つの改革が必要だ。今後静岡の多くの同志と運動の蓄積を感じながら労金の形を作っていくたい。」との挨拶がありました。

セミナーでは、立花龍司氏（ヘッドコンディショニングコーチ）の「勝つ組織のリーダーとは」と題した講演があり、コーチングに関する専門的な見地から、労働組合の様々な活動をさらに発展させていくために必要となる「組織強化」につながる講演がされました。この他、「全国合併」についての動向報告と今後の進め方の説明、2010年度事業計画（案）および営業推進計画（案）について労金常勤役員より説明がありました。

分散会に別れてのトップミーティングでは「くらし応援活動」の取組み結果、具体的実践から得られた課題の共有化が図られ、2010年度も継続してメインテーマとなる「くらし応援活動」について活発な意見交換が行なわれました。

東部
2010.2.3

中部
2010.2.15

西部
2010.2.5

労福協って なあ〜に! 16



中小企業勤労者福祉共済会 方向性研究会の“まとめ”がされました

1月14日、中小企業勤労者福祉共済会方向性研究会が開催されました。これまで県下3ブロック各2回のワーキンググループ議論を踏まえ、現状の課題認識の上にたち以下のような“まとめ”がされました。行政及び労福協は、今後、共済会の自立化に向けた取組への協力に努めることが盛り込まれました。



- <共通の方向性>**
- 共済会をはじめ、地区労福協及び行政の共済会関係者が協力体制を構築し、会員の拡大を推進する。
 - 共済会事業の共同実施について、更なる対象事業の拡大や事務の効率化を推進するとともに、関係諸機関と連携を図った事業の展開を図る。
 - 各共済会は自立化を目指した経営基盤強化のための施策を常に模索し、広域化(合併)については、各々の共済会が抱える事情や状況を踏まえ、適時に広域化の可能性等の検討を進める。
- <具体的取組>**
- 会費のメニュー化や会員資格の拡大等、全ての勤労者の福利厚生を担えるような方向性の検討をしていく。
 - スケールメリット拡大のため、広域化を念頭に会費額、会員カード、サービス施設の共有化、利用助成額の統一化等の事業展開を図る。
 - 会員の利便性を図るため、チケット制の導入や携帯電話等を活用した情報提供等と併せ、事業の効率的な実施に取組む。
 - 上記項目を具体的に実現させるため、関係者による協議の場を継続する。

<その他>
また、法人共済会においては、平成25年11月末に期限を迎える新公益法人制度への移行に向け、関係諸機関と調整の上、遺漏のないよう準備を進める。



開会式で挨拶する
平野福祉基金協合理事長



救援活動のための図上訓練 (福祉基金協会等主催)

県と県ボランティア協会および福祉基金協会などが主催して、「県内外の災害ボランティアによる図上訓練」が、2月27日(土)に静岡市市民文化会館で開催されました。訓練は、県内の災害ボランティアや各自治体関係者ら約220名、県外からも約100名のボランティアが参加して28日(日)まで行われました。

東海地震などの大災害を想定し広域支援の仕組みをつくる場としてスタートして今回は5回目。ボランティア本部立ち上げや運営、ボランティアと行政との連携、情報共有化と課題対策などの研修は、図上訓練と言うより頭上訓練で企画会議的な実験的な内容となっています。おりしもチリで発生した地震による津波情報が流れる中で行われ、参加者には緊張感あるものとなりました。



<参加者の声> 鈴木安正(島田市在住)

東海地震の発生が予想されて30年余りが経過した現在、日本国内や世界各地で大地震が発生しており、大きな被害を受けております。

私は、今回この図上訓練に初めて参加しましたが、新潟や宮崎・大分など全国各地遠方より参加された方たちもおりボランティア活動とは言え熱い想いを感じました。具体的な訓練については想定される被災情報を基に被災者や被災地に、いかに最適な支援を敏速・的確にどの様な方法で行うか。(いかに正確な情報を集め、具体的にどの様な団体と連携して、どの様に対応するか。)と言う内容の訓練でした。

この図上訓練に参加する前に、地域ごとに事前課題があり、その課題に取り組んでの参加でした。自分としては初めての事であり大変難しく、どれが正解なのか解りませんが外国ではありますが高イチやチリで大地震が発生した直後だけに大変有意義な集会であり、貴重な体験が出来たと思っております。



中遠地域労福協

磐田地区事務局次長 村松 弘康

「家計リセット術」
生活危機時代を生き抜く
荻原博子の
テーマ
労働文化講演会



テレビでお馴染みの経済ジャーナリスト「荻原博子氏」を招いて、２０１０年２月１４日（日）１４：００から袋井中央公民館で約４００名が参加して労働文化講演会を開催しました。

労働文化講演会は、中遠地域労福協が中心となって例年開催してきましたが、今回は連合静岡中遠地協にもご協力いただき、共同開催となりました。

中遠地域は、輸送機器関連の製造業会員が多い地域ですが、２００８年１２月の「リーマンショック」が引き金となって会員勤労者を取り巻く生活環境は大変厳しくなり収入が大きく落ち込んでいます。このような状況の下、どのように家計の見直しを図ったらよいのか、家計を預かる主婦の皆さんも悩んでいる中、今回の講演で見直しのヒントをいただき実践に繋げてもらうことを目的に開催しました。

講演内容としては、「ワンサイズ小さな生活にチェンジして１割カットする方法」「現金預金で生活費１年分が必要であり、必死に確保する方法」「現在のローンを点検して繰り上げ返済や有利なローンに換える方法」「保険や保証は無駄が多いため最低限に見直す方法」など、日常の支出を細かく点検して抑える方法や、「夫は辞めない妻は働く」といった収入を増やす方法（稼ぐこと）などにも触れていただきました。

中でも、ライフサイクルの中で「住宅」「教育」「老後」といったことでまとまったお金が必要になるけれども、できる限り前倒しでそういったことに対する資金を貯めることが大切であることや、５０歳で借り入れ額と預貯金や資産等の額が同額になることが理想であることを話され、大変参考になりました。

最後に講師の印象ですが、大変軽快で歯切れのよい話し方でした。テレビで見ると少し個性が強い方との印象を持っていましたが、たいへん腰の低い、感じの良い方でした。お世話をした担当役員からも「テレビで見る印象とだいぶ違うなっ」という声が多く聞かれました。



荻原 博子 氏

伊東熱海地区労福協

新春のつどい
ちんちん揚げ
事務局長 庭野 順一
ダーツを楽しむ



ちんちん揚げ



ダーツを楽しむ

伊東熱海地区労福協の「新春のつどい」を１月２５日（月）、暖香園ボウル・サンテラスにて開催しました。参加者は労福協役員・会員など ４８名で、第１部の講演でまちづくりを学んだ後、第２部の懇親会では、恒例のチーム戦ダーツ大会で大いに盛り上がり、交流を深めることができました。

講演は、立教大学観光学部講師の武井裕之氏が「観光まちづくりが地域を変える」をテーマに行われ、武井氏は伊東市観光協会アドバイザーでもあるので、観光関係者も聴講にいられました。

内容は、日本の人口減少が進むなか、交流人口増加に結びつく「観光まちづくり」が地域住民にとっても重要であり、「別府八湯温泉泊覧会（オンパク）」や「信濃町の癒しの森事業」による地域再生の成功事例を紹介され、「ないものねだり」から「あるもの探し」が必要だと説明され、伊東にある「ちんちん揚げ」「和菓子の文化」「みかん農園からの眺望」など、今後の地域振興に大変参考になる提案をいただきました。今年も会員の福利厚生、社会貢献事業の充実めざして活動を推進してまいります。



4月～6月の各地域・地区労福協力の活動予定

2010年2月現在

月	日	曜日	開始時間	催事(イベント)	会場(場所)	参加資格・参加費等	主 催	備 考
4月	毎週	木	10時	無料年金相談会	磐田商工会館2階会議室	どなたでも無料(事前予約制です)	磐田地区労福協	毎週木曜日(祝日の場合は金曜日)、専門家による相談会。お問合せは、磐田地区労福協 0538-32-2706
	11	日	9時	カーブミラー清掃	裾野市内	どなたでも無料	裾野地区労福協	交通安全運動の一環として裾野市内主要幹線道路に設置してあるカーブミラーの清掃を行います。お問合せは、裾野地区労福協 055-993-8111
	17	土	8時30分	ソフトボール大会	田町緑地スポーツ広場	会員のみー1チーム3000円	静岡地区労福協	会員の親睦ソフトボール大会です。お問い合わせは、静岡地区労福協 054-275-1388
	19	月	18時	健康・元気生活セミナー	湖西地域職業訓練センター	会員のみー無料	浜名地区労福協	「ストレスと上手につきあっていく方法とは？」をテーマにしたセミナーです。お問合せは、浜名地区労福協 050-3422-3192
	24	土	14時	無料法律相談	磐田商工会館2階	どなたでも無料(事前予約制です)	磐田地区労福協	一人20分で9組。予約は4月1日より開始します。お問い合わせは、磐田地区労福協 0538-32-2706
	25	日	10時	中遠地域フェスタマーデー	小笠山総合運動公園エコパ〔東第3駐車場〕	どなたでも無料	中遠地域労福協	家族で楽しめる模擬店等いろいろな企画があります。お問い合わせは、中遠地域労福協 0538-32-2706
	25	日	10時	第81回清水地域ファミリーマーデー	清水マリンパークイベント広場	どなたでも無料	清水地区労福協	マーデーを開催し、会員と組合員・家族の交流を図ります。参加費は会員より徴収。お問合せは清水地区労福協 054-351-9222
5月	毎週	木	10時	無料年金相談会	磐田商工会館2階	どなたでも無料(事前予約制です)	磐田地区労福協	毎週木曜日(祝日の場合は金曜日)、専門家による相談会。お問合せは、磐田地区労福協 0538-32-2706
	22	土	14時	無料法律相談	磐田商工会館2階	どなたでも無料(事前予約制です)	磐田地区労福協	一人20分で9組。予約は5月1日より開始します。お問い合わせは、磐田地区労福協 0538-32-2706
	22 23	土 日	10時	ろうきん「住んぶ会」住宅フェスティバル	ツインメッセ静岡	どなたでも無料	静岡地区労福協	住宅関連の催事。静岡地区労福協 054-275-1388
	23	日	8時30分	沼津地区労福協ソフトボール大会	東芝機械グランド	会員のみー1チーム3000円	沼津地区労福協	会員相互の親睦を目的にした団体対抗ソフトボール大会です。お問合せは、全労済東部支所 055-923-1755
6月	毎週	木	10時	無料年金相談会	磐田商工会館2階	どなたでも無料(事前予約制です)	磐田地区労福協	毎週木曜日(祝日の場合は金曜日)、専門家による相談会。お問合せは、磐田地区労福協 0538-32-2706
	26	土	14時	無料法律相談	磐田商工会館2階	どなたでも無料(事前予約制です)	磐田地区労福協	一人20分で9組。予約は6月1日より開始します。お問い合わせは、磐田地区労福協 0538-32-2706

清水地区労福協

労働団体役員
合同セミナー

事務局次長 村松 孝広



1月16日(土)に、清水区興津の駿河健康ランドに於いて、清水区内の労福協・連合・ろうきん・労済の各団体に関係する役員 80名が参加し、開催目的である、①組織や団体の枠を超えた人間関係づくり ②労働組合活動及び自主福祉活動の活力を生み出す為の自己研鑽の機会をつくる ③行政要望の企画・立案が出来得る組織力の強化を図る、以上3項目の実現に向け、「清水地区労働団体役員合同セミナー」が開催されました。

今回は静岡市に居住し働く仲間にとって、特に関わりが深く重要である、「静岡市総合計画」をメインテーマに、その基本構想に携わった各市議会議員をお招きし、①静岡市総合計画の全容 ②第一次総合計画の進捗状況 ③第二次総合計画の基本方針、等について講演を頂きました。「健康・福祉」、「文化・学習」、「生活環境・防災」、「産業・経済」、「都市基盤」といった各項目ごとに、それぞれ担当された市議会議員より、解りやすく丁寧な説明あり、参加役員との間で活発な意見交換がなされました。

参加者からは、「静岡市のむかうべき姿がなんとなく解った」、「静岡市行政の現状認識と問題や課題が理解出来た」、「総合計画そのものの基本体系が余りにも大きく多岐にわたっており、もっと勉強しなければならない」等の感想がアンケートで寄せられ、大変意義あるセミナー開催となりました。

「地域の働く勤労者の声を行政に反映させる」という、労福協としての活動目的達成の為にも、今回のセミナーで得た知識や情報を参考に、更なる「対市要望」の充実と実効を図っていく事が確認されました。

尚、余談ですが、セミナー終了後は大変熱心な交流が、夜更け過ぎまでなされた事を申し添え致します。

組合員の声に応じて2010年4月1日スタート!

自然災害共済

自然災害共済

※従来の自然災害共済の保障内容を **標準タイプ** とし、さらに保障内容を充実させた **NEW! 大型タイプ** を新設!

NEW! 大型タイプ が新登場!!



自然災害共済 NEW! 大型タイプ

自然災害共済

ポイントはこちら!!

1【風水害】
などのとき

最高 **4,200万円**
を保障!

最高保障額が従来の保障内容
(**標準タイプ**)より
1,200万円大きくなりました。

2【地震】
などのとき

最高 **1,800万円**
を保障!

最高保障額が従来の保障内容
(**標準タイプ**)より
600万円大きくなりました。

**3 付属建物等
特別共済金
を新設!!**

1事故、1世帯あたり3万円を
お支払い。
住宅契約の加入口数が20口以上
で風水害・地震などにより被害を
被った場合にお支払いします。

※自然災害共済は、単独ではご加入いただけません。火災共済に追加してご加入ください。
※ **標準タイプ** と **NEW! 大型タイプ** はどちらか一方しかご加入いただけません。

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠 2-13-4 ☎054-254-1180

東部支所 〒410-0046 沼津市米山町 11-24 ☎055-923-1755
中部支所 〒420-0839 静岡市葵区鷹匠 2-13-4 ☎054-254-6031
西部支所 〒432-8034 浜松市中区塩町 144-2 ☎053-453-5888

保障のことなら **全労済**
全国労働者共済生活協同組合連合会

暮らしをトータルに見守る多彩な共済
<http://www.zenrosai.coop/shizuoka>
全労済静岡県本部
静岡県労働者共済生活協同組合

1809B015

読者のページ

◆いつも、楽しみに読んでおります。今回は、ユニオントラベル特別企画「ANAで行く!冬の札幌スペシャル 3日間」に食いついてしまいました。富士山静岡空港発着プランで、旅費も安く心惹かれてしまいました。昨年、私の父が定年退職したので、お祝いにプレゼントしようかと思っています。
沼津市 上柳 智子 様

◆フードバンクのとりくみをもっと拡大してゆくといいですね。表紙の写真(富士山日の出)がすばらしいです。
沼津市 宮沢 よしの 様

◆組合の事務所で初めて手にとって見ましたが、Webでバックナンバーも見られるんですね。いろいろな情報がコンパクトに盛り込まれていてとても良いと思いました。今後もぜひ読ませていただきたいと思います。
富士市 毛塚 恵美子 様

◆今回初めて応募してみます。当たるかドキドキ。いままであまり注目して見ていなかったのですが、じっくり見ているという書いてあるんですね。いままで知らなかった活動をかきま見ることができ、意外とおもしろいかもと実感しています。今後ものがんばってください。
静岡市駿河区 矢部 浩二 様

◆『毎回、発行を楽しみにしております。「友好訪中」では、私が高校時代にスタディーツアーで海外に行った際にボランティアに出会うきっかけとなった時の気持ちをよみがえらせてくれるものでした。社会人になった今でも文具や切手や葉書を収集しています。何をするにも、一人の力では小さいですが、一人が集まれば大きな力になりますからね。
浜松市中区 山下 聖子 様

あなたも労福協だよりにご意見、ご質問をお寄せください。毎号抽選で5名様に粗品をプレゼント!

あなたも2,000円をゲットしよう!

ホームページからの応募も可能です

(1) 県下の地区労福協はいくつあるでしょうか?
A=23地区 B=12地区 C=47地区

(2) 冬季オリンピック会場のバンクーバーはどこの国でしょうか?
A=カナダ B=アメリカ合衆国 C=フィンランド

(3) 第60回勤労者総合美術展の作品展示会場はどこでしょうか?
A=グランシップ展示ギャラリー
B=静岡県庁東館 C=勤労者総合会館

答えを A・B・Cの中から選んでいただき、ハガキ・FAX・E-mailの何れかでご回答ください。正解者の中から、抽選で5名様に2,000円のUCギフトカードを差し上げます。合わせて、ご意見・ご感想等をお寄せください。
締切日/2010年5月31日(月)まで[消印有効]

応募先 〒420-0851 静岡市葵区黒金町5-1
県労福協「だより編集係」
FAX 054-273-3110

E-mailは労福協ホームページの郵便ポストをご利用ください。
郵便ポストをクリック

クイズ前回の答え (1) C: 浙江省 (2) C: 政権交代 (3) A: 白鵬

当選者 ●鈴木 敏一 様(沼津市)
●杉山 光永 様(静岡市葵区)
●松井 泰子 様(島田市)
●齋藤 志子 様(浜松市西区)
●相津 裕子 様(浜松市北区)

応募総数88通の内、正解者の中から抽選の結果、上記の方々が当選されました。おめでとうございます。

家族のしあわせを しっかりささえる ローンをえらぼう。

〈ろうきん〉

住宅ローン

〈ろうきん〉住宅ローンは

選べる返済プラン

【固定金利選択型】
3年固定型 5年固定型 10年固定型

【変動金利型】
●ご融資金額 / 最高1億円
●ご返済期間 / 最長35年間

【長期固定金利型】
〈ろうきん〉住宅ローン「フラット35」
●ご融資金額 / 最高8,000万円
●ご返済期間 / 最長35年間

**安心の
団体信用生命保険付き
保険料は
〈ろうきん〉が負担**

※ご融資残高が保険金額の上限となります。

さらに!

もうワンランク上の安心には
三大疾病・障害 特約付き
団体信用生命保険も取扱中。
※ご利用時は通常の場合と金利が異なります。

**マイホームの夢の
実現に**

新築や住宅購入、
リフォーム、土地購入、
マンションや中古住宅にも
ご利用いただけます。

初めてご利用される方も
お気軽にご相談ください。

毎週水曜日はローン相談デー
〈ろうきん〉全店OPEN!
水曜よりみち相談会

毎週水曜日
17:00~19:00
ご予約不要!!お勤め帰りにお気軽にどうぞ!
水曜日が祝日の際は休みさせていただきます。

ゆっくりのんびり日曜日はローンの相談日
県内〈ろうきん〉の
ローンセンターで開催中!
日曜のんびり相談会

予約制 毎週日曜日
9:00~12:00 13:00~16:00
あらかじめご予約でスムーズ対応!
毎週日曜開催 ※一部開催しない日がございます。
※いずれの相談会も、一部開催しない日がございます。

R ろうきん
静岡県労働金庫

お問い合わせ
ご予約は **0120-609-123**
フリーダイヤル 平日 9:00~18:00
インターネットホームページ
<http://shizuoka.rokin.or.jp>

お知らせ

ご来場をお待ちしています。

入場無料

第60回 静岡県勤労者 総合美術展 開催中!

期間: 平成 22年 4月 7日(水)~4月 11日(日)
会場: JR東静岡駅下車 グランシップ展示ギャラリー
作品: 絵画・書・写真・手工芸・コンピューターグラフィック

労福協のホームページ
※クイズの応募やご意見等の投稿ができます

検索サイトはこちらから
静岡県労福協 検索

労福協のブログ
※営業日は毎日アップしています。(写真好評中)

検索サイトはこちらから
こちら黒金町 検索

事務局員紹介コーナー

ライフサポートセンター友の会 事務局
静岡県退職者福祉協議会 事務局
ろうきんグリーン友の会 事務局

氏名: 柴田 日出美
星座: やぎ座
血液型: O型
趣味: ヨガ

多くの出会いの中で
日々楽しみながら学び
働かせていただいています。

Presented by The Creature Production Company in association with BBC Worldwide

WALKING WITH DINOSAURS

LIVE ARENA TOUR IN JAPAN

ウォーキング・ウィズ・ダイナソー ライブアリーナツアー イン ジャパン

労福協加入
団体の皆様限定!!

静岡公演チケット
を特別価格にて
販売します。

Based on The BBC's original television series Walking with Dinosaurs, first broadcast in the UK 1999.

会場 エコパアリーナ(袋井市愛野2300)

開催日時 平成22年7月29日(木) 19:00~
30日(金) 11:00~ 15:00~ 19:00~
31日(土) 11:00~ 15:00~ 19:00~
8月 1日(日) 11:00~ 15:00~

合計
9公演

座席	通常販売価格		ユニオントラベル特別価格 (平日)		ユニオントラベル特別価格 (土・日)	
	大人	子供	大人	子供	大人	子供
VIP	10,500円		8,500円		9,900円	
S	8,400円	7,350円	7,300円	6,400円	8,000円	7,000円
A	6,300円	5,250円	5,500円	4,600円	6,000円	5,000円
B	4,200円	3,150円	3,700円	2,700円	4,000円	3,000円

子供は、3歳～小学6年生までです。3歳未満のお子様でも座席が必要な場合は子供料金が必要になります。

販売期間 4月16日(金)まで

販売枚数 各公演50枚(VIP・S・A・B合計)を予定しておりますが、公演状況により追加も出来ます。
是非ご相談下さい。申込状況につきましては、ユニオントラベルHPにて確認できます。
<http://www.union-travel.co.jp/premium1wwd.html>

申込方法 <http://www.union-travel.co.jp/pdf/wwd.pdf> にアクセス頂き申込用紙に記入
してFAXして下さい。

静岡県知事登録旅行業第2-309号
●お申込み・お問合せは (株) 静岡ユニオントラベル
国内旅行業務取扱管理者 山下 倫矢

〒422-8067 静岡市駿河区南町11-22 労働会館3F
TEL.054-203-6877 FAX.054-203-6878
<http://www.union-travel.co.jp/top.html> E-mail:union-travel@herb.ocn.ne.jp
担当 山下、鈴木、滝浪まで

労福協だより | 2010 春号

発行日/平成22年4月1日 発行所/静岡県労働者福祉協議会
発行責任者/加藤 清 TEL.054-221-6241 FAX.054-273-3110

検索サイトからもご覧いただけます

静岡県労福協

検索

Eメール rofukukyo@mx1.s-cnet.ne.jp

インターネットホームページ

<http://www.s-cnet.ne.jp/~scn00855/>